

「加古川市こども・若者計画」への審議会委員からの提出意見への回答

No.	意見内容	担当課	本市の考え方
1	P7, IIIの保護者自身の自己肯定感を持ちながらの環境について→(中等度知的障がい児を育てる母としての意見です)お仕事を最近別でも始めまして、社会に出る事や他との繋がりを持つ大事さを改めて感じました。放デイ、日中一時などの預け先の充実については今一度ご検討いただければ嬉しく思います。長期休みだけでも、単発でも短時間でも受け入れ所が増えれば働きやすさや障がいのある子を育てる保護者達も、少し離れて過ごせることで気持ちも安定を図れるのではないかと考えます。親子参加型等でもいいので、夏休みに障がいのある子たちが自然で遊べる場などを設けてもらえるのも嬉しいなと感じます(費用等や受け入れ場所の確保等の事情もあるかと思ひますし、放デイの充実も大事だと思います。ですが、保護者としては少しでもサポートが増えることで我が家も含め、障がいのある家庭の皆さんの環境が良くなるのではないかと感じます。)	障がい者支援課	障がいのある人の支援体制の充実を図るため、ニーズを踏まえてハード面の整備を進めております。令和6年度は加古川市地域生活支援拠点等施設整備事業補助金として、医療的ケアサービスを提供する施設(児童発達支援、放課後等デイサービス)、短期入所の施設を開設する事業所を補助金(市単独)の交付対象としております。障がいのあることに対しては、保護者の就労状況等も勘案して、適切に各サービスの支給決定を引き続き行っていきます。また、障害のある人が身体を動かせるイベントとして「ふれあいスポーツ教室」を実施しており、令和6年度は6月・10月・11月に開催しました。内容や時期については、引き続き検討します。イベントの周知等は引き続き行っていきます。
2	P16(9)の①障がい児等への支援について、地域社会への参加の支援と共に、機会があれば一般向けの障がいに対する理解の向上の場、勉強の場があってもいいのではないかなと思います。一般の人の理解が広がれば住みやすい環境、支えあえる環境になるのではないかと考えます。	障がい者支援課	地域を基盤とした障がいのある人を支え合う仕組みづくりとして、地域住民の方も対象にした講演会等を開催(「加古川市障がい者基幹相談支援センター主催」)しており、今後も継続的に実施予定です。
3	P17(10)の①子育て支援施設の充実、場について、子育てプラザに集まる親子が凄く多いと感じます。そのため、プラザの充実は重要だと思います。イベントやママ講座等素敵なイベントが多く、一時預かりもあり、ママたちの交流の一番の場となっています。イベントを楽しみにしている方も多くいらっしゃいます。特に参加した中でママ講座は一時預かりもありつつ、ママも離れてリフレッシュする機会があるのでママの安定、母同士の交流、子どもと離れる経験を養え、凄くいいと感じているので増えればいいなと個人的には感じています。出会いの場、顔見知りを増やす場、そこからの支え合いの場を充実させるのは子どもを支えるまちづくりに必要な気がします。	こども政策課	子育て中の保護者等が安心して子育てができる環境を整備するため、子育て支援施設や交流の場の充実については、子育てプラザは、現状の2ヶ所を維持していき、その他志方児童館も含めて、事業の充実や質の向上を図ります。
4	P17(11)の①読書活動の推進について、広くて本数の多い図書館が多く、良く利用していますが、最近高砂の図書館の児童本の多さ、見る場所の多さに感動しました。加古川の図書館も満足していますが、児童本の増加や見やすさ、見る環境をさらに良くしていただくことで利用率も増える気がします。	中央図書館	こども・若者への読書活動については、DX化など近年の社会変化の中で、豊富な図書資料の確保や電子図書館の活用、また資料展示や読書活動に関する様々な事業を通して進めるとともに、引き続き基本となる児童書の整備・充実にも努めます。
5	P18(13)の②公園についてインクルーシブ公園の導入もご検討をお願いします。	公園緑地課	公園の整備にあたっては、兵庫県福祉のまちづくり条例等を遵守して計画、実施しており、だれもが利用できるように努めています。
6	P24(5)②の食育取組、地産地消の推進について、低年齢からの習い事や勉強に力を入れている家庭が増えてきているように感じます。そのため交流の場としてもいいのではないかと感じました。食育なども意識している方が多く、地域で集まる機会、勉強の機会となり非常に有益な機会だと感じます。	農林水産課	加古川市では食育や地産地消に関する取組みとして、加古川産の志方健やか米や加古川パスタを学校給食に提供するほか、加古川産の米や野菜などを調理実習に提供し地元農家の方に授業いただき、子どもたちに地元の農業や食材について関心を高めています。また、みどろの丘では、事業の一環として、子どもが参加できる農業体験や農作物収穫イベントを実施することで、農業と食材に直接触れて、地産地消や食育を学ぶことができる機会を創出しています。
7	幅広い情報の中で、情報の見やすさ、受け取りやすさが大事ではないかなと感じます。少し前に初めて加古川市のユーチューブがあることを知りました。インスタグラムも情報が上がっており助かっています。他の情報があるのを知らなかったため、紐付けや、市役所でユーチューブを流す等の情報を提示していくのも大事ではないかなと感じました。また、障がい児もそうですが、視覚からの情報が入りやすい特徴があります。文、言葉だけでは理解しにくい方も沢山いらっしゃると思うため、(高齢の方、お子様なども含め)写真などを利用した情報提示なども今後取り入れてもらえるとうわたりやすいのではないかなと感じます。	企画広報課	市公式YouTubeチャンネルでは行政情報や市のPR動画などの情報を配信しております。現在、加古川駅構内の加古川観光案内所でYouTube内の動画を配信したり、市ホームページや広報紙で各種SNSのリンクを掲載しております。また、視覚からの情報に関しては広報紙や市ホームページにおいて、写真やイラストでイメージしやすく工夫しております。今後も、より多くの方に見て頂けるよう、伝わりやすい情報発信に取り組んでまいります。